

タイトル	新型コロナウイルスワクチンの保管における ディープフリーザーの電源喪失の発生について
------	---

いつ 実施日時・工期	令和4年5月27日（金）
どこで 会場・開催地等	和光市内
だれが 主催者・関係者	
なにを 事業内容など	市内医療機関において、ファイザー社ワクチン（7,278回分）を冷凍保管していたところ、ディープフリーザー（超低温冷凍庫）が電源喪失状態となっているのが発見された。
なぜ 目的・理由	ディープフリーザーに接続された非常用バッテリーの不具合によると考えられる。
どうした 経緯・経過	<ul style="list-style-type: none">・発見時の庫内温度は-12°C。ワクチンの再冷凍が認められる温度の上限（-15°C）を超えていたため、温度管理の要件に従い冷蔵保管に切り替えた。・冷蔵での使用期限は1か月となるため、これらのワクチンを使用して頂くよう市内医療機関に協力を依頼するとともに、市の集団接種（6月）においても当該ワクチンを使用する。・冷蔵保管となったワクチンは、近隣自治体での受入れにつ

	いても調整を図っていく。
金 額	
そ の 他	現時点で、市内における4回目の追加接種に必要なワクチンの確保に影響はない。
問い合わせ先 担 当 課	課 名 和光市保健福祉部健康保険医療課 (新型コロナウイルスワクチン接種事業 プロジェクトチーム) 氏 名 細野 千恵 電 話 048-465-0311 (和光市保健センター内)